OPSODIS™

取扱説明書

OPSODIS 1

アクティブスピーカー・システム

Bluetooth®

本機の主な特長

・バイノーラル音声を含む空間オーディオを立体的に再生する OPSODIS技術＊を搭載することにより、音楽や映画を圧倒的な 没入感で楽しめます。

・Bluetoothを始め様々な入力（USB-C/光デジタル/AUX）に 対応しておりますので、PC、スマートフォン、タブレット などと接続して楽しめます。

・20W/chのハイパワーなアンプと3Wayスピーカーによる クオリティの高い音質が楽しめます。

＊OPSODIS技術については3ページを参照ください

※Bluetooth® およびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、ライセンスに基づき使用しています。

安全上のご注意

ここでは、安全に関する項目について記載しています。あなたや他の人々へ与える危害や、財産などへの損害を未然に防止するため、ここに記載されている事項をお守りいただくものです。ご使用の前に必ずお読みください。

⚠警告	この表示とともに記載されている事項を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	この表示とともに記載されている事項を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

さらに、各項目ごとに 「図記号」を使用しています。これらの「図記号」は、つぎのような意味を表わしていますので、意味をよくご理解の上お読みください。

図記号の例

△	△記号は、注意しなければならない内容（警告を含む）を示しています。具体的な注意内容は△の中や近くに絵や文章で示しています。左図の場合は「感電注意」を示しています。
○	○記号は、禁止内容（してはならないこと）を示しています。具体的な禁止内容は○の中や近くに絵や文章で示しています。左図の場合は「分解禁止」を示しています。
●	●記号は、強制内容（必ずすること）を示しています。具体的な注意内容は●の中や近くに絵や文章で示しています。左図の場合は「一般的な指示」を示しています。

⚠警告

- 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源コードを外してください。煙が出なくなるのを確認してサービス窓口へ修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですので、絶対にお止めください。
- 万一機器内部に水や異物が入った場合には、すぐに電源コードを外し、サービス窓口へご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一機器を落としたり、スピーカーを破損した場合には、電源コードを外しサービス窓口へご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 機器本体に直接水のかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。特に屋外での使用（雨天、降雪時、海岸、水辺）にはご注意ください。
- 本機の分解・修理・改造は絶対にしないでください。また、カバーは絶対に外さないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機の上に花瓶、コップや水などの入った容器、小さな金属物を置かないでください。水がこぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

⚠注意

- 本機をお手入れする場合には、安全のため電源コードを外してください。感電の原因となることがあります。
- 本機を移動する場合には、必ず電源コードを抜いて、外部機器の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
- 油煙や湯気の当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

仕様

●アンプ部
最大出力：20W/ch (1kHz 4Ω負荷)
歪率：0.1%
S/N 比：90dB(A-Filter)
周波数特性：20Hz ～ 20kHz(fs48kHz)

●Bluetooth
通信方式：Bluetooth 標準規格 Ver.5.0
出力：Bluetooth 標準規格 Power Class1
通信距離：10m
使用周波数帯域：2.4GHz 帯
対応プロファイル：A2DP,AVRCP
対応コーデック：SBC, AAC
対応コンテンツ保護：SCMS-T 方式
伝送帯域：20Hz-20kHz

●USB
端子：USB typeC
インターフェース：USB2.0 ハイスピード
サンプリング周波数：32/44.1/48kHz
ビット深度：16bit

●スピーカー部
型式：パッシブラジエター式
スピーカー：
ウーファー　5.0 ㎝ x 2
ミッド　2.5 ㎝ x 2
トゥイーター 2.0 ㎝ x 2
パッシブラジエター 5.7 ㎝ x8.4 ㎝ x2
再生周波数帯域：55Hz ～ 20kHz(-6dB)

●電源部 /AC 電源アダプター
入力：AC100V-240V（50Hz/60Hz）
出力：DC16V 4A

●その他
外形寸法：382mm(W) x 80mm(H) x 130mm(D)
※突起物含まず
質量：2.3kg ※本体
付属品：AC 電源アダプター
取扱説明書 (本書)

※すべての Bluetooth オーディオ機器　USB オーディオ機器との接続を保証するものではありません。
※仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

立体音響再生システム「OPSODIS」について

前方の小型スピーカーのみで、音を全方位に届け、まるでその場にいるかのような、没入感と臨場感を体験できます。

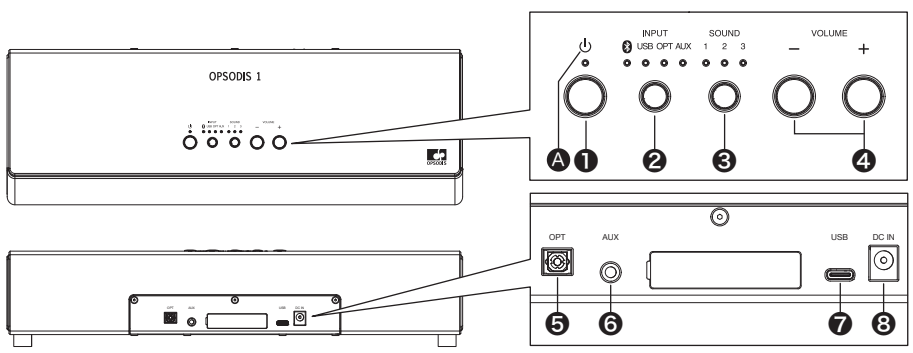
OPSODIS（オプソーディス）の原理

ひとは、耳で感じ取った音から、方向や距離などの空間情報を読み取ることができます。
しかし、通常のステレオ再生では､左右のスピーカーからの音が両耳までの空間で混ざってしまうため､空間情報を得ることが困難です。
OPSODISでは、独自のアルゴリズムによりスピーカーの音を混ぜずに両耳に届けることができるため、フロントスピーカーだけで、音の空間情報を明確に再現します。

本機はデスクトップ使いをメインに想定しており、本機の正面の位置でスピーカーとリスナーの耳との距離が約60cm、角度約60度の位置が最も定位が明確になります。距離が離れたり、角度がずれていくにつれて徐々に立体効果は弱まります。
またテレビの近くに本機を設置する際に、本機との視聴距離が遠く立体効果が少ない場合は、テーブル上などの近距離の位置に設置して頂くことで、より臨場感溢れる音響が楽しめます。
本機は音源が持つ空間情報を再現致します。立体の空間情報を持ったバイノーラル録音された音源やサラウンドで制作されている映画や空間オーディオと呼ばれる音源は、立体効果の再現性が高いです。
またステレオ音源でもヘッドホンでの立体空間の再現を目指して制作されている楽曲も多く、そうしたコンテンツは高い立体効果が期待できます。
一方、モノラル音源や通常のテレビ放送（特にニュースやバラエティなど）などの空間情報が少ないものでは、立体効果としましては弱くなります。

OPSODIS 1 各部の名称と機能

低域・中域・高域それぞれ専用のステレオパワーアンプを搭載した2chアクティブスピーカーです。



❶ [⏻] ボタン
本機の電源をオン/スタンバイに切り替える際に使用します。スタンバイ状態の時、Ⓐパワーインジケータが赤に点灯します。
（付属のACアダプタが接続されていない場合は、消灯します。）

❷ [INPUT]選択ボタン
ᛒ、USB、OPT、AUXのインプットを切り替えます。

❸ [SOUND]設定ボタン
音質を切り替えます。
Sound1：Narrowモード
Sound2：Wideモード
Sound3：シミュレーテッドステレオモード

❹ [VOLUME]ボタン
ボリュームの調節を行います。

❺ [OPT] インプット端子
光ケーブルを使って外部音源を接続します。

❻ [AUX]インプット端子
ステレオミニケーブルを使ってステレオ音源を接続します。

❼ [USB]インプット端子
別売のUSBケーブルを使ってパソコンと接続します。

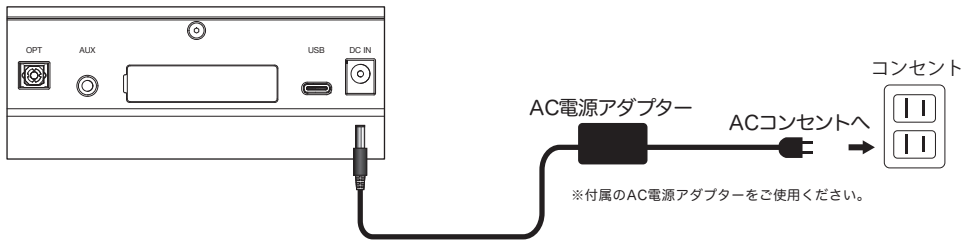
❽ [DC IN] 端子
付属のAC電源アダプターを接続します。

オートパワーオフ機能

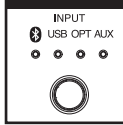
20分間無音状態が続くと自動的に電源が切れ、スタンバイ状態になります。

電源とスピーカーの接続

＜注意＞：機器間の接続は、電源をオフの状態で行ってください。



入力を切替える



ᛒ、USB、OPT、AUXの入力を切り替えます。
任意のインジケータが点灯するまで[INPUT]選択ボタンを繰り返し押して切り替えます。

Bluetoothで接続する

本機のBluetooth機能を使ってワイヤレス受信を行うためには、初めに本機とBluetooth機能を有する機器とペアリング(接続設定)する必要があります。

1. 本機の⏻ボタンを押し電源を入れます。
2. [INPUT]選択ボタンをBluetoothにし、そのまま約2秒間長押しするとᛒインジケータが速く点滅しペアリングモード(接続機器検索状態)になります。
※点滅後は手を離してください。
※点滅中に「INPUT」選択ボタンを押すと接続機器検索を中止します。
3. スマートフォンなど接続するBluetooth機能のBluetooth機能を有効にしてください。
【Androidの場合】
[設定]→【無線とネットワーク】から[Bluetooth]をタップ→Bluetoothを有効にする。
【iPhoneの場合】
「設定」→[Bluetooth]をタップ→Bluetoothを有効にする。
4. 接続するBluetooth機能のデバイス一覧に表示される【OPSODIS 1】を選択してください。
5. ペアリングが完了するとᛒインジケーターが点灯に変わります。
※本機は、すべてのBluetooth機器とのワイヤレス接続を保証する物ではありません。

ᛒインジケーターの状態表示

状態	ᛒインジケータ
ペアリング待ち	速く点滅
接続待ち	ゆっくり点滅
接続完了	点灯

メモ

- 再度、ペアリングを行う場合は、[INPUT]選択ボタンを長押し、ᛒインジケータが速く点滅してから、ペアリングを行ってください。
- ペアリング接続待ち状態(ᛒインジケータが速く点滅した状態)でもペアリング履歴にある機器から接続操作を行うことでBluetooth接続を開始できます。
- Bluetooth接続完了の状態で、本機の電源を切ると、Bluetooth接続も解除されます。
- [INPUT]選択ボタンを8秒以上長押しするとすべてのペアリング情報を消去します。
- Bluetooth接続中でも他の機器とのペアリングができますが、その場合は現在の接続は解除します。
- 8台までの機器の接続履歴情報(ペアリング情報)を記憶することができます。
- ペアリングモードに入ってから5分間ペアリングされなかった場合は、接続待ち状態へ戻ります。
- スマートフォンや音楽プレーヤー側でもボリューム操作ができますが、アンプ本体のボリュームとは独立して動作します。

Bluetooth接続がうまくいかないときは

ペアリングできない場合

・スマートフォンのBluetooth通信を一度オフ→オンしてから再度ペアリングする。
・本機の[⏻]ボタンを押してスタンバイにしたのちもう一度押して電源をオンし、[INPUT]選択ボタンを長押しして ᛒインジケータが速く点滅した状態で再度ペアリングする。

ペアリング済みで再接続できない場合

・スマートフォンのBluetooth通信を一度オフ→オンしてから再度接続する。
・本機の[⏻]ボタンを押してスタンバイにしたのちもう一度押して電源をオンし、[INPUT]選択ボタンを長押しして ᛒインジケータが速く点滅した状態で再度ペアリングする。
・スマートフォンで本機とのペアリングを解除してから、再度ペアリングする。

USBで接続する　パソコンの接続と設定

本機を使用して音声を再生するには、パソコンのサウンド出力先に本機を指定する必要があります。

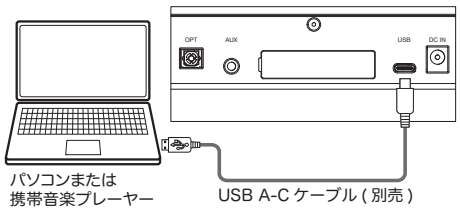
メモ　パソコンのサウンド出力レベルを最大にすることで、高品位の音質を得る事ができます。

パソコンの条件

USB2.0対応のUSBポートを標準装備したパソコンを本機に接続することができます。
パソコンのOSは、Windows10以上、MacOS10以上を推奨します。

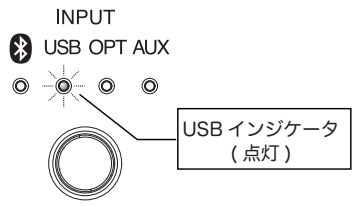
接続

別売のUSBケーブルを使って本機とパソコンを接続します。本機の電源をオンすると、パソコンが本機を認識して自動的にサウンド出力装置として登録します。



USB入力の選択

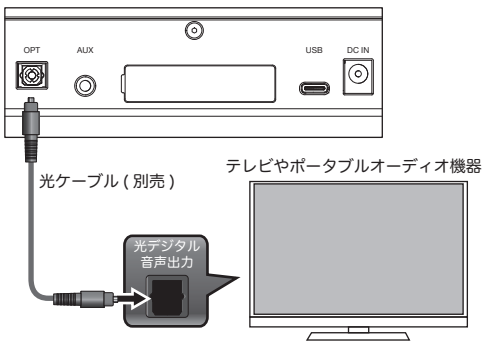
1. 本機の電源がオンしていることを確認します。
2. USBインジケータが点灯するまで、[INPUT]選択ボタンを繰り返し押します。



OPTで接続する　その他のオーディオ機器との接続

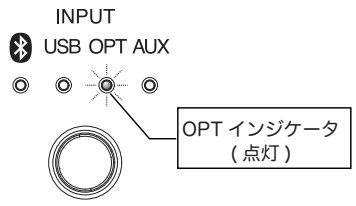
接続

別売の光ケーブルを使って本機とテレビやポータブルオーディオ機器などを接続します。



OPT入力の選択

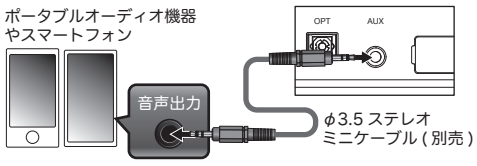
1. 本機の電源がオンしていることを確認します。
2. OPTインジケータが点灯するまで、[INPUT]選択ボタンを繰り返し押します。



AUXで接続する　その他のオーディオ機器との接続

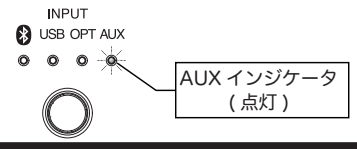
接続

別売のφ3.5ステレオミニケーブルを使って本機とポータブルオーディオ機器などを接続します。



AUX入力の選択

1. 本機の電源がオンしていることを確認します。
2. AUXインジケータが点灯するまで、[INPUT]選択ボタンを繰り返し押します。

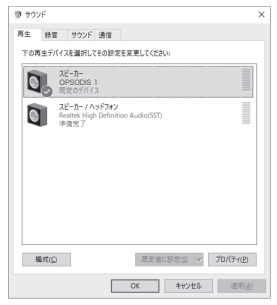


Windows10の場合

1.Windows10の10スタートメニューから「設定」をクリックしデバイスを選択します。

2.「サウンドの設定」を選択します。

3.「OPSODIS 1」を選択します。



Windows11の場合

1.スタートメニューから「設定」をクリックし、「サウンド」を選択します。

2.「スピーカー」の「OPSODIS1」を選択します。右矢印を押すと右記の画面に切り替わり、サンプリング周波数が設定できます。

MacOS Sonomaの場合

1.アップルメニューから「システム環境設定」を選択し、サウンド」を選択します。

2.「出力と入力」項目の「出力」を選択し、リスト中の「OPSODIS1」を選択します。

Bluetooth 機器について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。したがって、本機を使用するときに無線局は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

⚠本機を分解/改造すること

⚠本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

周波数について

本機は2.4GHz帯の2.4000GHzから2.4835GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本気の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の動機無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1.本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2.万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

3.不明な点その他お困りのことが起きたときは、8ページに記載しております『お客様相談窓口』まで、お問い合わせください。

2.4FH1

この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

アフターサービスについて

●この説明書には、保証書が印刷されています。お買い上げの際に、販売店で所定の事項を記入してお渡しします。記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間は、お買い上げ日から１年です。期間中は保証書の規定に基づいて、当社サービス部門が修理いたします。

●保証期間を過ぎてしまった場合、または保証書を紛失した場合の修理については、サービス窓口へご相談ください。

●この製品の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) の最低保有期間は、製造打ち切り後６年です。

●当社サービス窓口の連絡先は、以下になります。お気軽にご相談ください。

●保証期間を過ぎてしまった場合でも、修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料修理いたします。

サービス窓口/お客様相談窓口
TEL　：050-3381-5157
月曜日～金曜日/10:00~18:00
※祝祭日、年末年始は除く
E-mail：info@kjm-ops-support.jp

無償修理規定

1. 取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には、当社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、
 (1) 製品と保証書をご持参の上、当社サービス窓口へ修理をご依頼ください。
 (2) 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. つぎの場合には、保証期間内でも有料修理となります。
 (1) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 (2) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
 (3) 火災・地震・水害・落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷。
 (5) 異常磨耗、異常損傷を除き、自然消耗と見なされた消耗部品による故障および損傷。
 (6) 特殊業務、または特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷。
 (7) 保証書のご提示がない場合。
 (8) 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、取り扱い店 の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
4. 保証書は、日本国内のみにおいて有効です。
 This guarantee is valid only in Japan.
5. 保証書は再発行いたしません。紛失しないよう大切に保管してください。

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、当社サービス窓口へお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、前述の「アフターサービスについて」をご覧ください。

保　証　書

このたびオプソーディス製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。厳格な検査を経てお手元にお届けしておりますが、お客様の正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証書記載内容により無償で修理いたします。本書をご提示の上、当初サービス窓口へ修理をご依頼ください。

保　証　期　間　１　年	
機　種　名　および　型　番	OPSODIS 1
機　番	

お客様	ご住所	〒 TEL
	お名前	
お買い上げ日		年　月　日
販売店	店　名	
	住　所	〒
	電　話	TEL

鹿島建設株式会社
〒107-8502　東京都港区元赤坂1-3-1

・ご販売店様へのお願い：必ず太枠内の所定事項を記入捺印の上、お客様にお渡しください。
・お客様へのお願い　：保証期間内に無償修理を受ける場合、太枠内の記載がない時には、『領収書』または『納品書』などと一緒に本書を提出してください。